

# 私立大学の情報公表

**出見世信之**

**一般社団法人日本私立大学連盟**

**経営委員会委員・情報公開検討分科会前分科会長**

**明治大学商学部長**

# 情報公表への取り組みの背景

- 日本私立大学連盟は、令和元年に私立大学ガバナンス・コードを策定する
- 同コードは、会員法人の自主性と多様性に基づくガバナンスの強化と健全性の向上を図るための指針として策定される
- コード策定に当たり、加盟大学がすでに実施しているグッドプラクティスや私大連が提案してきた大学ガバナンスに関する報告書等を参考にしている
- 「コンプライ・オア・エクスプレイン」の原則の採用から、さらなる情報公表を必要とする

# 情報公開検討分科会

- 経営委員会に情報公開検討分科会を設置し、私立大学の情報公表のあり方について検討し、令和元年度に「中間報告」を令和3年度に「最終報告」を公表する
- 分科会では「私立大学の情報公表—自律性、公共性、信頼性・透明性、継続性の観点から—」をテーマに報告書をまとめる
- 「自律性」「公共性」「信頼性・透明性」「継続性」は、私大連ガバナンス・コードの基本原則であり、加盟大学の情報公表も、これらすべての基本原則に基づいて行われる

# 情報公表の4原則

「自律性」の確保、多様なステークホルダーに対する説明責任等の観点から、情報を積極的に社会に対して公表する

自律性

「公共性」を有する研究教育機関として、それぞれ建学の精神や伝統の下で社会に有為な人材を育成し、その成果を公表する

公共性

信頼性・公共性

「信頼性・透明性」の維持のために、様々なステークホルダーにとっての価値を実現しながら、情報を公表する

継続性

「継続性」の保持には、私学助成を受け、学納金を主たる収入源とするために、コスト意識を持って情報を公表する

# 最終報告書における課題と対応

自律性	課題	ガバナンス・コードの遵守状況の公表
	対応	<ul style="list-style-type: none"><li>・コードの遵守状況の向上</li><li>・遵守状況の公表に向け学内での手続きを進める</li></ul>
教育情報	課題	多様化する社会からの大学に対する要請への対応
	対応	<ul style="list-style-type: none"><li>・正課内・外で「どのように教育しているか」とその成果の公表・説明</li><li>・各大学の創意工夫により可視化された学修成果の公表</li></ul>
財務情報	課題	質的な情報の充実
	対応	<ul style="list-style-type: none"><li>・図表、グラフの活用等による分かり易い説明の付記</li><li>・各大学の理念・方針に基づく自大学からの視点を主軸とした補足説明</li></ul>
比較可能性	課題	大学が発信する情報の比較可能性への期待の高まり
	対応	<ul style="list-style-type: none"><li>・大学の実態や戦略に応じた比較可能な情報公表のあり方と公表内容の充実</li><li>・自大学における過去と現在との比較</li></ul>
非常時	課題	大学間に対応にあたっての差がある
	対応	<ul style="list-style-type: none"><li>・発信方法をステークホルダー毎に確認する</li><li>・事前にマニュアルを整備する</li></ul>